

【課長表彰】

▽「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館（仮称）電気工事（受注者＝一電設・関電設・共栄電気エンジニアリング特定建設工事共同企業体）複数ある情報設備（情報系統）を分かりやすく識別させるため、情報用（LAN）コンセント・配線を統系ごとに色分けし、別途工事による機器接続の効率化・誤接続防止を図るなど、開館後の維持管理の施工性を向上させた

▽深堀団地（中耐）建築工事（C-7棟）（受注者＝大進・あけぼの特定建設工事共同企業体）地域の小中学生が建設（建築）業に興味・関心を持つ機会として現場体験型の見学会を実施。将来を担う子供たちが興味・関心を持つ機会を提供し、県営住宅建設工事への理解も深めた

▽県庁新別館大規模改修電気工事（受注者＝原口電気機）改修工事の範囲が分かるようにカラーケーブルを使用し、既存配線と区別できるようにした。OAフロア内の隠ぺい部分のコンセント・電話などの位置が分かるよう、床下にマーカーを設置、移転時の入居者の机の配置を容易にした

【下請表彰】（「長崎県立・大村市立一体型図書館及び大村市歴史資料館」（仮称）空調設備工事の元請けJVの下請）
▽（合同）ライネックスー現場作業の効率化と品質向上のため、冷温水配管のプレハブ化の計画実施に積極的に協力
▽備システム空調閉架書庫エリア床開口作業で、根太などへの干渉を避けるためセンサーを使用して墨だしするなど、品質向上に積極的に貢献

▽備タカラ保温一機室内のダクト有効面積を確保するため、グラスウールダクト工法を採用する作業で積極的に協力

19年度・建築関係優秀工事課長表彰式



平松・三原課長と受賞者

県土木部の賞繰課と建築課は9日、2019年度・建築関係優秀工事課長表彰の表彰式を県庁舎で開催。平松彰賞繰課長が、受賞工事の施工企業の代表者や担当技術者ひとりひとりに、表彰状や記念のバッジを手渡した。この表彰は、賞繰課が発注した工事のうち、他の模範になる優れた施工をした企業を表彰することで、県内の建築業界の技量向上を目指すもの。18回目となる今回は、前年度に完成した工事のう



三原課長

優秀工事6社下請3社を表彰

新時代に対応する技術を習得、成長へさらに努力

ち、特に優秀だった3工事を施工した6社と、優秀工事知事表彰受賞工事の下請け業者のうち、特に優秀だった3者を表彰した。式典の冒頭、あいさつに立った三原真治建



一電設・柴田社長

築課長は、受賞者を「優れた技術力と並々ならぬ努力を評価された方々。日ごろの精進に深く敬意を表します」と称えた。その上で「今後も、各地域の建築業界のリーダーとして、

技術の向上や適切な施工管理に尽力いただき、本県の建築・住宅行政の推進に一層の協力をお願いします」と期待。また、強靱な県土づくりが求められる一方で、建設業の担い手不足が懸念される現状に触れ「担い手の確保・育成には、働き方改革を加速させる必要がある。皆様の果たす役割は大変重要」と述べ、受賞者のさらなる取り組みを求めた。

受賞者を代表した謝辞では、(株)一電設の柴田順一社長が登壇。今回の受賞に当たり、発注者や地域住民などの工事関係者に深く感謝した上で、「業界が非常に厳しい状況にある中、技術と経営に優れた企業として存続を図るべく、技術力向上・防災防止・環境配慮・施工技術の開発・イメージアップなど、各社真摯な努力を続けている。本日の受賞は、こ

れらの努力が報われた」と決意し、関係者に対し一層の指導・鞭撻を求めた。
※受賞工事と受賞理由は上記に掲載

建設新聞社
2019年9月11日付
(第6600号 3面)
に掲載されました